『輝く雪』のまち　ぬまた町

みんなの議会

2017年2月
第68号

主な内容

◎意見書―鉄道事業の存続を求めた……3ページ
◎一般質問―JR問題を住民運動に……4~5ページ
◎議会の動き―議員セミナー開催……8ページ
◎調査報告―総務民教常任委員会……9ページ

平成28年 第4回 定例会

12月15日～16日

12月15日第4回定例会が開かれました。

上程された主な議案

◎条例の改正

・沼田町農業委員会の委員の定数に関する条例

・公益法人などへの職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例

◎28年度補正予算

平成28年度予算に425万円を追加し歳入歳出予算の総額を56億4059万円としました。

〈主な内容〉

○スコーレセンター施設管理業務委託料　370万円（維持補修）

○厚生クリニック医療機器整備事業　793万円（電子カルテシステム導入）

○農産加工場製造費　620万円（生産増による原材料費増加）

○上水道施設費　△502万円

○深川地区消防組合負担金　△1042万円

○一般職給料　△671万円

○超過勤務他職員手当　1124万円

（昨年に比べ職員数が4名減っていることが要因し、時間外手当で870万円の増額補正となりました。

職員数の不足を危惧する質問がありました。）

傍聴席の生の声

・ＪＲ問題で何が何でも鉄路を先頭に立って守り抜くという決意が伝わらなかった。

・エコタウン構想が出来上がる前から利用促進を図り町民の理解を得る努力が必要。

傍聴席の生の声

ＪＲ問題、商業施設、コンパクトエコタウンについての議題が出る前に要望、地域的問題の提示が必要ではなかったかと感じた。

今回の定例議会の傍聴者は、13名でした。

皆様の傍聴をお待ちしています。お気軽に、御来場ください。

第8回臨時会●11月28日

条例の改正

平成28年国家公務員の給与改定法が人事院勧告に沿って可決されました。職員給与、特別職給与、議員報酬の条例を一部改正しました。

・改定された職員の初任給

高校卒146100円

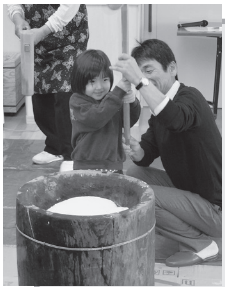
短大卒158800円

大学卒178200円

一般会計補正予算　195千円

・議員の期末手当を0.1ヶ月分引き上げました。

財源は地方交付税の増額です。



表紙の写真

昨年の12月17日更生保護社会参加活動として認定こども園で行われた餅つきのひとコマです。子供たちと一緒に餅つきをしてつきあがった餅を納豆餅や、きなこ餅にして楽しく、おいしくいただきました。

議決された意見書　第4回定例会

患者負担の現行制度の継続を

70歳以上の高額療養費の月額上限の引き上げと後期高齢者の医療費窓口負担を１割から２割に引き上げることが提案されている。長期治療が高齢者の生活を圧迫し、受診抑制がされないように、高額療養費制度と後期高齢者の窓口負担の現行継続を求めました。

JR北海道への経営支援を国に求める

ＪＲ北海道は国の経営安定化基金の運用益の活用などで経営を維持してきたが、金利低下や安全対策への多額の投資が必要なことから、これまでにない厳しい経営を余儀なくされている。地域住民の日常生活に重要な移動手段である鉄道が、北海道において公共交通機関としての役割を発揮するために、更なる財政支援を強く求めました。

地方議会議員の厚生年金制度の確立を

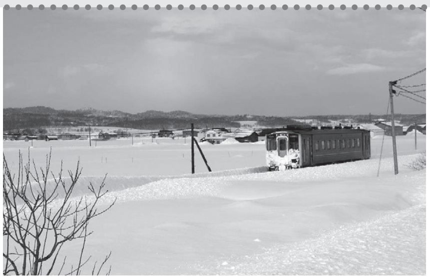
国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう求めました。

JR北海道の鉄道事業の維持存続を道に求める

鉄道網の縮小を前提としたＪＲ北海道の見直し案は、北海道経済に大影響を及ぼすものと危惧する。北海道は、国と連携して鉄道輸送のあり方の明確な将来ビジョンを描き、国に財政支援をはじめ、特段の措置を要望することを求めました。

大雨災害に特段の財政措置を

北海道では相次いで上陸した台風による河川の氾濫で住宅や農地への浸水被害、道路・鉄道の決壊など土砂災害が発生した。全道各地で甚大な被害が発生し、住民のくらしや経済活動に多大な影響が生じた。住民が安心して、もとの生活ができるよう早急な災害対策と今後の防災対策に特段の財政措置を求めました。



第1回臨時会●1月12日

監査委員の選任

現監査委員の金子幸保氏が任期満了になりました。引き続き同氏の再任に同意しました。

産建福祉常任委員会　審査報告

平成28年第４回定例会で産建福祉常任委員会に付託された「国による子ども医療費無料制度の創設を求める陳情」「国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める陳情」を産建福祉常任委員会で慎重審議した結果、上程され採択されました。

議決された意見書　第1回臨時会

国による子ども医療費無料制度の創設を求める

病気の早期発見と治療、継続を確保する上で、医療費助成制度は極めて重要な役割を担っている。地方公共団体の施策を一層充実させ、子どもを安心して産み、育てることのできる社会の実現をめざすには、地方制度の安定化が必要で、国による支援が不可欠である。中学卒業までの「国による子ども医療費無料制度」を早期に創設するよう求めました。

国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める

「子ども医療費助成制度」において、治療費の窓口支払が、償還払い方式と現物給付方式があり国民健康保険に対する国庫負担金の調整規定で補助金に差が出てくる。受診抑制を来さない現物給付方式の創設が求められるので、「子ども医療費助成制度」に係る国保国庫負担金の調整（減額）を廃止するよう求めました。

町長への一般質問

問 市街地の交通をスムーズに
答 町民の安全を最優先に検討したい

杉本邦雄 議員

問 地方創生計画に並行しコンパクトエコタウン構想が進められている中で、中核施設建設と合わせた市街地の路線網、国道275号などの交通の整備が必要と考えます。

近年、高規格道路など周辺道路の整備が進み、町外への買い物などが将来を担う若い層に見られます。

町内の交通網を整備し、町内での購買が進むよう工夫してはどうか。

特に国道が直線でないことや、6ヶ所ある信号機の連続性が無い事でスムーズに市街地に入れないようです。連続信号や、押しボタン信号など整備を検討できないか。

又、高規格道路に並行する国道275号の新道は開発局としてどう考えているのか、町民の要望が強ければ新道建設は可能なのか考えを聞きたい。

東部地区から町までの信号は6ヶ所あります。

実際にルートの検証を実施しました。国道ルートと最短ルートでは23秒の違いでした。信号の連続集中制御は現状出来ません。押しボタン信号は検討できますが、住民の安全を守ることが目的です。地域の皆様、交通安全協会などとも検討していきたい。

国道バイパスの考えは、現在旭町の道路整備、五ケ山橋架け替え工事が始まっていますので国は改めて投資することは難しいと思います。今、町の中で商業施設など様々な施設を造り、賑わい活性化に努めています。この状況のなか国道バイパスの話は大きな論議を呼ぶと懸念しております。

街中のようす

問 JR問題を住民運動に
答 全道運動として取り組んで行きたい

久保元宏 議員

問 JR留萌線問題で町長は深川市長の「全道的な議論が不足している中で、JRと個別に市町村が協議することを拒否」に同調すると言っているが、その経緯と理由を聞きたい。

「国や道が動くまで行動しない」スタンスをとることで地域とJRの連携の信頼関係が構築できなくなり、町民が不利益を受けるのではないか。

今後友好的にJRを利用して行く政策の考えがあれば聞きたい。例えば、朝の6時27分のJRに高校生が間に合うよう無料の町営バスを出してはどうか。

JR北海道が民営化した時に6822億円の基金があったが、当時の運用益500億円から現在270億円になっており、少なくても230億円は国が補助する義務があるのではないか。

道路などの維持管理と同等以上に鉄道の維持管理は国の義務ではないか。

現在の機運は道民運動として国はJR北海道へ補助すべきと思うがどうか。

私も廃線を前提とした個別の協議には入るべきではない考えでした。深川市長とは現状話はしておりません。国、道の考えを見極めていきたい。

JRとの地域連携はいままで同様進めていきたい。町では高校生応援手当を行っていますので無料バスは難しいと思います。

鉄道廃止問題はJRだけの問題ではなく、地方の公共交通を守る観点から国、道の仕事だと思っています。地域交通検討会議、市、町村長会議を踏まえ、道民運動として取り組んでいきたい。

朝の通学風景

問 ＪＲ問題に対する姿勢を示せ
答 町村会と共に道、国に要望したい

鵜野範之 議員

問 平成27年3月ＪＲ北海道は留萌、増毛間の廃線を決めました。

平成28年11月には深川、留萌間の運行が困難になることから、バスでの代替運行を協議したいと、沿線自治体に説明に入りました。

こうした経過の中で、町は公共交通としてのＪＲとの関わりが不足していたのではないかと思います。

町は公共交通としての鉄路の継続のため、今まで何に取り組んできたのか。

今後は鉄路を維持させるためにＪＲ、道、国にどのように、働きかけていくのか。

町民へ経過を説明し、懇談の場をもうけて町の基本姿勢を示してはどうか。

町としてはＪＲの廃線問題が出るまでは、運行に対して関わりを持っていませんでした。

今後は他の町とも連携を取りながら、町村会と共に北海道、国に要望して行きたい。

町民への説明は道の考え方を見極めてから行いたいと考えています。

石狩沼田駅

問 こども園の入園待機児童対策は
答 運営法人と協議し、連携して行いたい

高田　勲 議員

問 今年度から認定こども園が開設されました。二重保育状態の解消など、子育て世代の町民には念願の施設です。

また、保育料の負担軽減も実施され、保育需要が増大しています。一方で保育士不足が社会問題化していて、本町でも園を運営する社会福祉法人が、恒常的に保育士を募集しています。

本町において今年度中に、待機児童や潜在的待機児童の発生はあったのか。

年度途中で、町から派遣している幼稚園教諭が退職しています。欠員に対し、町としてどのように対応したのか。

今後も保育士不足に起因する待機児童の発生が予測されます。どのように対応していくのか。

こども園は定員を80人に設定しており、現在は57人の利用があります。3歳未満の利用が定員いっぱいで、これ以上受け入れが出来ない状態です。

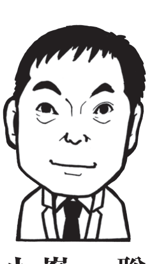
現在3歳未満の入園希望者（潜在的待機児童）が5人います。園からは1月より対応が可能になると伺っています。

退職した幼稚園教諭については、町が派遣しているので補充するべきであったと思います。年度途中であり、人材を確保出来なかったのが実態です。現在は園の中で、有資格者を配置して運営しています。

当初、町から理事を選出する予定でしたが、法令上出来ませんでした。運営会議に担当者を出席させていますので、連携を密にして行きます。

こども園での保育のようす

問 消防職員を増員すべきではないか
答 当面は現体制で運用したい



小峯　聡 議員

問 厚生病院が無床になったことで、搬送距離が増えていると思いますが、1回の搬送時間がどのように変化しているのか。

　現在、夜勤については3人体制で、救急出動になると、自宅待機者が支署に来ています。本来は4人体制が必要だと考えます。現在の体制では職員の勤務に無理があるのではないかと思うがどうか。高齢化に備えて、今から万全の体制を組むために職員の増員が必要ではないか。

出動回数は、5ヶ年間で若干減少傾向です。1回あたりの平均出動時間は26年度は78分で、27年度は80分と大きく変動はありません。救急及び火災対応については特に問題はない状況で、当面は現体制で運用をしたい。夜勤を4人体制にするには2人の増員が必要で、経費もかかります。

　特別な状況変化がない限り、職員の年齢構成を考えながら計画的に採用をしていきたい。

本年度更新された高規格救急車

小峯聡議員のその他の質問

問 建設中の安心センターの人員配置はどうなるのか。また、介護とか福祉に関する各種の手続きはどう変わるのか

答 どういう体制がベストなのか今協議しているところです

問 高校生まで医療費を無料に
答 頑張る高校生応援手当で対応しています

橋場　守 議員

問 現在、空知で高校3年まで医療費を無料にしている市町村が多いのですが沼田は行っていません。是非これをやっていただきたいと思います。

　子どもの時に早く手当をすれば、病気も早く治るといわれています。治療が遅れることで医療費がかさむ事になります。子どもが病気になった時にすぐ治療を受けられるよう、高校生まで医療費を無料にしてはどうか。

沼田町では現在がんばる高校生応援手当で、高校生3年間で毎月1万円を支給しています。他の町で行っていない政策で応援をしてますから、医療費については、中学生までという考え方でいます。

楽しい高校生活を

橋場守議員のその他の質問

問 改定介護保険法による「新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」が発足します。将来にわたって「現行相当サービス」が下がらないよう要求すべきではないか

答 総合的に取り組んで、問題があれば国に要望していきたい

問 マイナンバーについて「町とのすべての手続きでマイナンバーが必要ということはない」と伝えることを徹底すべきではないか

答 ご理解をいただき町民の方々に記載していただいている。情報管理については、沼田町個人情報保護条例に基づいてきちっと管理をしており、情報の漏えい等の防止も徹底してる

問 医療介護施設の運用を町民議論で
答 年度内に情報提供をしたい

津川　均 議員

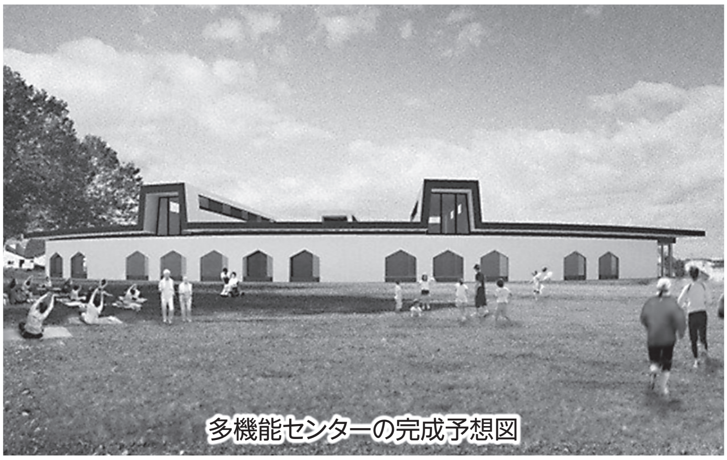
問 コンパクトエコタウン構想の、商業中核施設とクリニックの建設工事が進められています。並行して、あんしんセンターも着工しました。これらの施設を起点として、町民と一体となった町づくりが、コンパクトエコタウン構想の基本理念と認識しています。しかし、町民に対する情報提供が少なく、議論が進んでいないと思います。施設を有効に利用してもらうためにも、利用方法や運営スタイルを議論して、町内外にアピールするべきです。

これからの日程も含めて、どのように町民議論を進めていくのか聞きたい。

厚生病院の無床化が発端であり、「町民の方が安心して住み続けられる町」というのが大きなテーマでした。

町民の理解を得るために、ワークショップなどを実施しながら現在に至っており、多くの方が関心を持って参加しています。クリニックは7月、多機能センターは10月の開設を目標として準備を進めています。現在、運営方法などを内部検討しています。厚生クリニックと、地域包括総合事業の展開を含めて調整の段階です。新年度の予算に盛り込み提案させていただきます。

町民の方には、年度内に情報提供をさせていただきます。



多機能センターの完成予想図

教育長への一般質問

問 就学援助金の支給を入学前に
答 早く交付できるように検討したい

橋場　守 議員

問 憲法26条には「義務教育はこれを無償とする」と定めていますが、教科書以外、様々な費用が必要です。生活保護受給者世帯には国から援助があるが、準要保護世帯に対しては各自治体が就学援助を行っています。

本町では準要保護世帯に認定する収入をいくらにしているのか。生活保護基準の倍率が1・2倍と聞きましたが、実際には自治体の任意なので、もっと増やしてはどうか。

入学前に支給しないと入学準備にお金がかかるため、4月1日の入学式までに支給してはどうか。

教育長 生活保護基準の1・25倍になっています。この金額につきましては、民生委員、児童委員に意見を聞いて決定しているので、必ずしも1・25倍で決めているわけではありません。

支給は、現在は4月の入学時に申請していただき、民生委員会を経て、教育委員会で決定をしています。

やはり準備金ですので、なるべく早く交付できるように検討したいと考えています。

教育をうける権利は公平にある

問 社会教育施設 利用率向上のPRを
答 施設の有効活用に取り組みたい

津川　均　議員

問 社会教育施設の利用状況を見てみるとそれぞれの施設によって利用の増減があります。

夏期間に限られた施設については、パークゴルフ場6929人、テニスコートが2人でした。

施設は多くの要因で利用頻度が変わります。利用状況が良いから良い施設、使われてないから悪い施設だという判断はできません。

せっかくある施設を、多くの方に利用してもらうために何が不足してるのか調査し、利用度を高めるためにどのように運営していくのか方向性を聞きたい。

教育長 今年、北空知管内パークゴルフ場で町外向けの大会が28回ありました。北竜町9回、雨竜町7回、妹背牛町5回、秩父別町1回、沼田町3回でした。

町外の方が大会だけでなく事前練習に来ることも、非常に大切です。パークゴルフ協会と相談しながら29年度については町外向け大会も開きたいと思います。

化石体験館などは、一人でも多く施設を有効活用してもらえるよう検討して、来年度に向けて取り組んでいきたいと思います。

パークゴルフ場

議会の動き

新築した除雪センター第2車庫

議員セミナー

1月12日に両常任委員会の共催による議員セミナーが開催されました。

今回は昨年完成した除雪センター第2車庫と、現在建設中の厚生クリニックに加え、㈱まちづくりぬまたが発注した商業中核施設を視察しました。

除雪センター第2車庫は、車輌の大型化と除雪能力の向上にともない建設されました。

建設中の施設については、工事を請け負った岩田地崎・広進経常建設共同企業体の担当者より、詳細にわたる説明を受けました。

春の完成が待たれます。

議会懇話会

1月25日に自治振興協議会との懇話会が開催されました。

冒頭お互いの活動内容を紹介し、その後自治振興協議会で行っている各行政区からの意見要望などをまとめた資料を基に意見交換が行われました。

続いてJRから提案されている留萌線の廃止について意見交換が行われました。議会側からは今までの経緯や考え方などを説明し、個人的考えなどいろいろ意見が出されました。

その後懇親会が開かれ懇話会で話せなかったことなど有意義な時間となりました。

多くの意見が出されました

総務民教 常任委員会　所管事務調査報告

委員長 久保 元宏
副委員長 鵜野 範之
委　員 杉本 邦雄
大沼 恒雄
高田 勲

沼田町「化石」の可能性

国立科学博物館

報告書

沼田町では9000万年前から300万年前までの幅広い年代の化石が産出しています。そこからは「ヌマタネズミイルカ」「ヌマタカイギュウ」などの海生哺乳類や、「タカハシホタテ」などの貝類があります。特に700万年前の地層は世界的にも限られた地域しかなく、沼田のクジラが世界のクジラの謎を解き明かす重要な鍵になっています。

そのような貴重な世界規模の地層や化石をどのようにマネージメントできるか、可能性を調査しました。

福島県『いわき市アンモナイトセンター』は、8900万年前のアンモナイトなどの化石が発見された地層をそのまま建物で覆った施設と隣接する屋外体験発掘場からなっています。

群馬県『神流町恐竜センター』は日本で最初に恐竜の足跡化石が確認され、恐竜で町おこしや観光に取り組んでいます。

展示内容は、あえて地元産化石にこだわらずに、モンゴル産などが9割で、恐竜を中心に約200点の標本を展示しています。

役場の職員に営業職を置き、化石発掘体験、オリジナルグッズを売る売店や食堂、加工施設、キャンプ場など観光目的の施設運営になっています。

アンモナイトセンターにて

『国立科学博物館』は国を代表する総合的な科学博物館です。東京・上野にあり誰もがアクセスでき、鑑賞者と研究者とのコミュニケーションが自然と生まれ、知覚を刺激する展示を楽しむことができます。

これらの視察から、「見るだけではつまらない」、「触るだけでは物足りない」、「手に取るものから見えないものまで体感」し、「思考したくなる」、メッセージ性のある展示が沼田町にも必要と感じました。

沼田町の歴史的財産により、人がつながり、アイデアがひらめき、町がもっと元気に、クリエイティブになる、そんな素敵な、まちづくりが必要と考え、次の意見を付します。

付した意見

1. 博物館の運営、いわゆる「ミュージアム・マネージメント」に取り組むには経営の効率化、経営資源の獲得、住民による社会的価値の創設などが、必要となります。そのためには「企業版ふるさと納税」などの国の政策を活用する手法もあります。

2. 「レプリカ工房」のスペースや設備の充実をはかり、世界へ情報発信できる学芸員の環境が必要です。そのことにより、教育や住民の参加する場所も育めます。

みんなの広場

サイレントマジョリティ

沼田町農民協議会委員長　畑　地　　誉

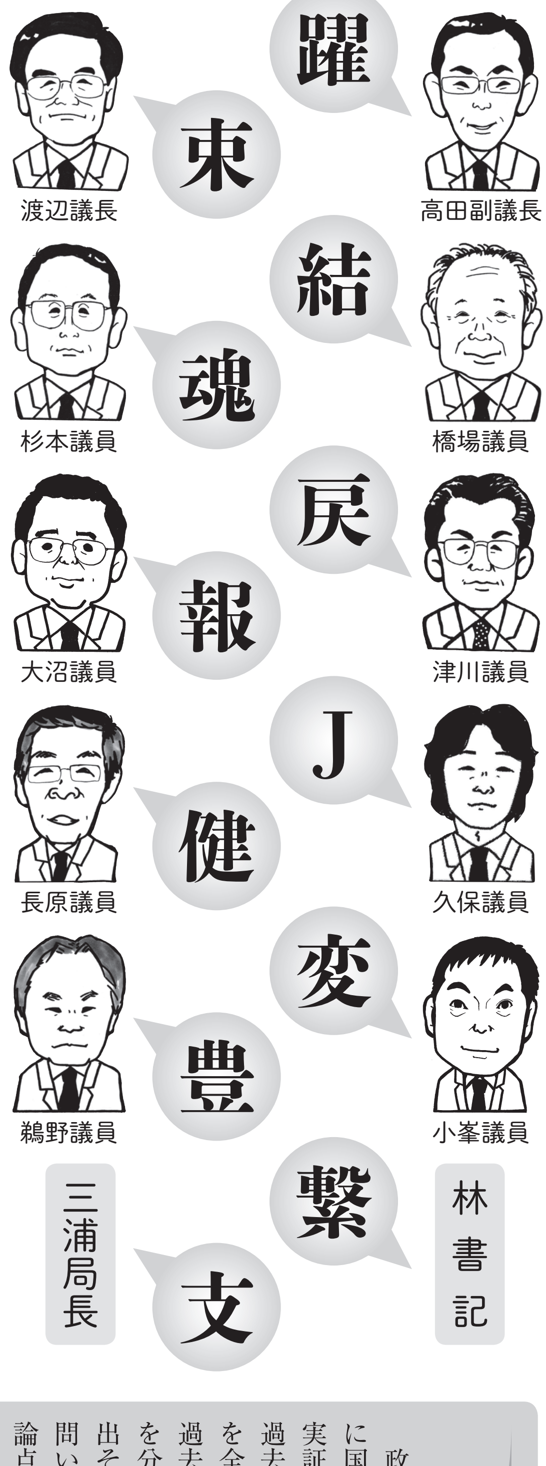
46と言うアイドルグループをご存知でしょうか？昨年の沼田小学校学習発表会で目にした演目は、先生方の熱心な指導と子どもたちの頑張りで多くの観客を魅了していました。素晴らしいピアノ伴奏、少年３人の独唱に迫力あるダンスパフォーマンス、そして何より無言の表情からキラキラ輝きに変わっていく表現力に最高の感動を受けました。

一方この曲には社会的メッセージが強烈に隠されています。歌詞の中で「どこかの国の大統領が」とあるのは、アメリカのニクソン大統領が、1969年の演説で「グレート・サイレント・マジョリティ」とこの言葉を用いたことを意識して書いたのではと考えます。当時、ベトナム戦争に反対する一部の学生など反戦運動が行われていた世論に対し、多くの国民は何も言ってはいない、だから戦争に賛成しているとの解釈は、時の為政者が世論を都合よく利用しているのではないかと注目されました。今の日本は似ていませんか？国政選挙の投票率は下がる一方で多くの大衆は物言わぬ国民になっており、メディアの質は益々悪化し、報道の自由度ランキングでは世界で72位と低迷しています。

最近の農協組織への猛烈な批判において、組織の性格上自由に反論しづらいのが農協等の機関です。私たち農民組織は政党や思想に束縛されない組織であり、農業者が沈黙しないよう国や農水省そして世論に訴える行動を常に意識して活動しております。

子ども達が一生懸命演じたサイレントマジョリティから多くのことを学ぶとともに、子ども達の未来がキラキラ輝く社会にするには、一人一人が率先して声を上げ国政や町政に反映させることが重要で、その為にも議会の皆様の活躍に期待を致します。

今年の思いを 漢字一文字



あとがき

政府は人工知能（AI）に国会答弁を下書きさせる実証実験を始めた。AIに過去5年分の国会の議事録を全て読み込ませたうえで、過去の質疑や政策課題などを分析したAIに、国会で出そうな質問や政策課題を問いかけ、答弁の下書きや論点を整理した資料を作成できるかを実験する。

職員の長時間労働の負担を減らし「働き方改革」につなげる狙いもあるようです。ただ、決まりきった質問に決まりきった答弁、これでは議員としての仕事をしていないことに近い。議員は人間目線で政治をするのではないでしょうか。

今年も町民皆様のご意見、アイデアを頂きながら、安全で安心な町づくりをしていきたいと思います。

広報特別委員
大沼恒雄　高田　勲
小峯　聡　長原　誠
鵜野範之

『議会広報』
2017年2月23日発行　発行者　沼田町議会　〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町　TEL0164-35-2117